-サブサハラ

6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21

日本にとってのアフリカの重要性

- ●国連最大の地域グループ
- ▶ 国連加盟国193か国中、 アフリカは54か国
- ●ポテンシャルの高い大陸
- > 2001年~2021年のサブサハラ 地域の年平均経済成長率:約5% (右グラフ、出典IMF)
- > 2050年には世界人口の1/4を 占める25億人強の市場になる との予測
- > 技術の進歩により発掘が進む 豊富な鉱物・エネルギー資源
- ●「自由で開かれたインド太平洋」実現のパートナー
- 質の高いインフラ投資による連結性強化、海洋安全保障等
- ●人間の安全保障の実践
- ▶ 紛争・テロ、食料安全保障、感染症、気候変動問題等への対処

日本の取組:アフリカ開発会議(TICAD)を中心に

- アフリカ開発に関する多国間の国際会議として、 アフリカ開発会議(TICAD)を1993年に立ち上げ。
- TICAD7 (2019年8月、於:横浜) において、
- ➤ TICAD史上初めて、民間企業を公式なパートナーと位置 づけ、本会合にて日アフリカ官民の直接対話を実施。 ODAを最大限活用しつつ、企業のアフリカ事業を後押し。
- ➤ ODAを活用した支援策を含む 「TICAD7における日本の取組」を発表。







TICAD7における日本の取組

社会

平和と安定



「ABEイニシアティブ」 アフリカにおけるビジネス カバレッジ (UHC) 拡大 の推進に資する産業人材の 者に修士課程留学と日本企 康保険の普及。 業でのインターンシップを 専門家派遣、本邦研修等を 提供。

TICAD7では「ABEイニシ 人材を育成を表明。 アティブ3.0」として、6年 間で3,000人の産業人材育 成を表明。



ユニバーサル・ヘルス・ 300万人の基礎医療アクセ 育成のため、アフリカの若 スや衛生環境の改善及び健

通じて、26,000人の保健



制度構築・ガバナンス 強化

「アフリカの平和と安定 に向けた新たなアプロー チ (NAPSA) 」の下、ア フリカ主導の紛争解決努 力を尊重し、紛争・テロ 等の根本原因にアプロー チ。

制度構築・ガバナンス強 化等の支援を実施。



ブルーエコノミー推進

持続可能な水産資源の活 用、連結性強化、海洋安 全保障等のため、人材育 成、港湾整備・運営支援、 船舶機材供与等を実施。



質の高い教育の提供

理数科教育の拡充や学習 環境の改善により、300 万人の子どもたちへの質 の高い教育の提供を表明。



人道と開発の連携

難民・国内避難民支援と ホストコミュニティへの 開発協力の連携を念頭に 置いた支援等を実施。

地域の平和と安定への貢献の例

- ✓ サヘル地域…治安機材を供与し、警察や空港 の治安対策能力を向上。
- ✓ 南スーダン…2011年の独立以来、JICAや 国際機関を通じ、国づくりへの支援を継続。



南スーダンの平和定着支援